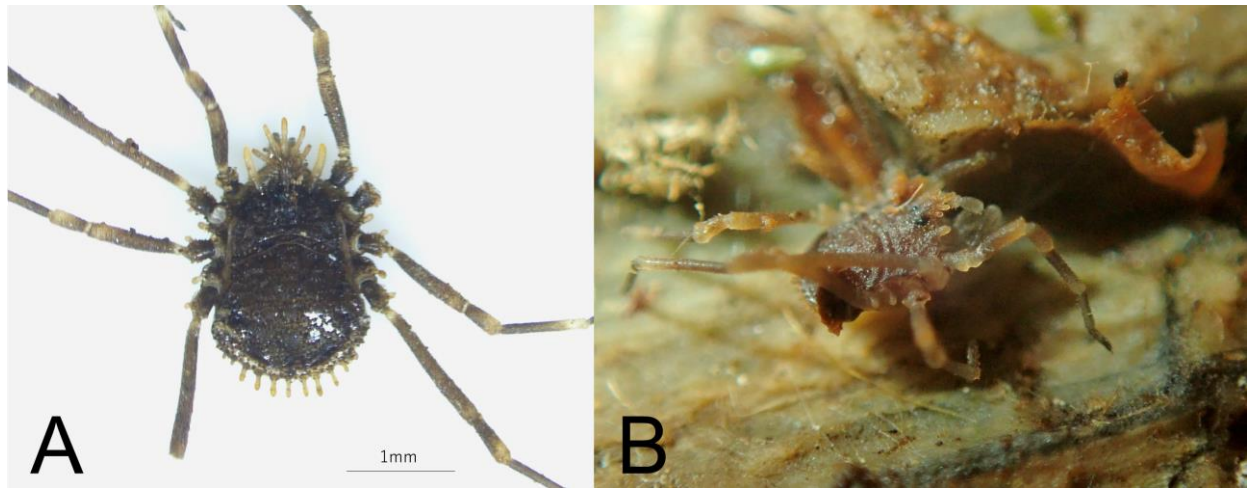


## 高知県におけるカブトザトウムシの初記録

辻 雄介<sup>1,2</sup>・辻 春香<sup>2</sup><sup>1</sup>株式会社 相愛<sup>2</sup>高知県高知市石立町 221-1-203写真1 *Cladolasma parvulum* カブトザトウムシ A: 標本写真 (いの町産), B: 生態写真 (大豊町産)

## 種の記録

Nemastomatidae イトクチザトウムシ科

*Cladolasma parvulum* Suzuki, 1963

カブトザトウムシ(写真1)

標本 1 産地目) 採集年月日: 2022年9月24日. 採集場所: 高知県のいの町寺川 (33.7479, 133.1845). 採集方法: 篩採集. 採集数: 1 個体(写真 1A). 採集者: 辻 雄介. 標本保管: 株式会社相愛内(液浸).

2 産地目) 採集年月日: 2022年10月1日. 採集場所: 高知県大豊町佐賀山 (33.7594, 133.7621). 採集方法: 石起こしおよび篩採集. 採集数: 2 個体[幼体(写真 1B)・成体]. 採集者: 辻 春香・辻 雄介. 標本保管: 筆者ら自宅(液浸).

## 種の特徴

頭胸部前方に複雑な兜飾り状の突起があることで本種と同定した(鶴崎・鈴木, 2015).

## 備考

いの町では標高 900m 程度のブナ林内で, 林床の落葉落枝層をシフターで篩って採集した. 大豊町では剣山系南西部に位置する独立峰の梶ヶ森で, 山荘梶ヶ森周辺(標高 1200m 程度)のブナ林の林床から, 石起こしおよび篩採集により採集した.

本種はザトウムシ目 Opiliones ヘイキザトウムシ亜目 Dyspnoi に属する, 四国地方のブナ林に固有な種で(鶴崎, 2014), 愛媛県の石鎚山系(皿ヶ嶺, 面河溪, 石鎚山, 笹ヶ峰, 東赤石山), 徳島県の剣山系, 香川県の大川山で生息が確認されている(鶴崎, 2014). 高知県との県境となる山において他県側からの生息は確認されていたが, 高知県内からの公式な記録としては本報が初めてになると思われる.

## 引用文献

鶴崎展巨. 2014. 愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物 カブトザトウムシ ([https://www.pref.ehime.jp/reddatabook/2014/detail/06\\_12\\_003020\\_1.html](https://www.pref.ehime.jp/reddatabook/2014/detail/06_12_003020_1.html)). 2022年10月3日参照).

鶴崎展巨・鈴木正将. 2015. ザトウムシ目. 青木淳一(編), 日本産土壤動物第二版 分類のための図解検索. 東海大学出版会, 神奈川. 121-145.

(2022年10月8日受理, 2022年10月9日公開)

連絡先: 辻 雄介 (e-mail: y.tuji@soai-net.co.jp)

(Yusuke Tsuji and Haruka Tsuji. 2022. New record of *Cladolasma parvulum* from Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 22014)